

DAD5001/DAD5002

C5000 シリーズ

レベル調整・音声遅延機能付

デジタル・オーディオ分配モジュール

取扱説明書

Ver 1.06



株式会社コスミックエンジニアリング

はじめにお読みください

ご使用上の注意

正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

お読みになった後は、必ず装置の近くの見やすいところに大切に保管してください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。



注意

この表示内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を表しています。



左の記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



左の記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。



左の記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。

万一、製品の不具合や停電などの外的要因で映像や音声の品質に障害を与えた場合でも、本製品の修理以外の責はご容赦願います。


警告
■ 万一異常が発生したらそのまま使用しない

煙が出ている、変なおいがる、異常な音がする。

このような時はすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、本製品を設置した業者またはメーカーに修理を依頼してください。


■ お客様による修理はしない

お客様による修理は危険ですので、絶対におやめください。


■ 不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。


■ 内部に異物を入れない

通風口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。

万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。


■ 本体フレーム等の天板等を外したり、改造をしない

内部には電圧の高い部分がありますので、触ると感電の原因となります。機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。


■ ご使用は正しい電源電圧で

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因になります。


■ 雷が鳴り出したら電源プラグには触れない

火災・感電の原因になります。


■ 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む

ショートや発熱により、火災・感電の原因となります。


■ 電源ケーブルを傷つけない

電源ケーブルを加工しない。無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。電源ケーブルの上に機器本体や重いものを載せない。電源ケーブルを熱器具に近づけない。火災・感電の原因となります。


■ 機器の上に水や薬品等が入った容器を置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。

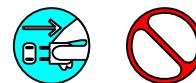

■ 機器の上に小さな金属物を置かない

万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグを本体から抜いてください。火災・感電・故障の原因となります。




注意
■ 電源プラグを抜くときは

電源プラグを抜くときは電源ケーブルを引っ張らずに必ずプラグをもって抜いてください。ケーブルが傷つき、火災・感電の原因となります。


■ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。


■ 次のような場所には置かない

火災・感電の原因となります。
湿気やほこりの多いところ、直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ、油煙や湯気の当たるところ、水滴の発生しやすいところ。


■ 通風孔をふさがない

本体には内部の温度上昇を防ぐための通風孔が開けてありますので、次のような使い方はしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。あお向け、横倒、逆さまにする。風通しの悪い狭い場所に押し込む。


■ 重いものを載せない

機器の上に重いものや本体からはみ出る大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となります。


■ 機器の接続は説明書をよく読んでから接続する

本体の電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。指定以外のケーブルを使用したり延長したりすると発熱し、火災・やけどの原因となります。


■ 長時間使用しないときは電源プラグを抜く

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。


■ お手入れをする時は電源プラグを抜く

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。



仕様および外観は改良のため、予告無く変更することがあります。
本機を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
海外仕様、DC入力仕様については弊社営業までお問い合わせ下さい。

目次

表紙.....	1
はじめにお読みください.....	2
目次.....	5
1. 概要.....	6
2. 構成.....	6
3. 機能.....	6
4. ブロック図.....	7
5. 操作説明.....	8
5-1. フロント、リア入出力及び LED 表示.....	8
5-2. フロントモジュール設定.....	9
6. フレームの取付方法.....	10
7. SNMP.....	10
8. コンフィグ設定ファイル・フォーマット.....	16
9. 定格および電気的特性.....	18
10. お問い合わせ.....	19

1. 概要

- DAD5001 は C5000 モジュールシステムに搭載可能な音声レベル、遅延制御機能付きデジタル・オーディオ 1 入力 4 分配モジュールです。DAD5002 は、2 入力各 4 分配に対応したデジタル・オーディオ分配モジュールで、1 入力 8 分配することも可能です。
- 設定により LTC 信号、ワードクロック信号を分配することも可能です。
- C5000 シリーズ システムフレーム C5002 (2RU) , C5001 (1RU) に搭載可能です。
- 欧州 RoHS 指令に適合しております。

2. 構成

DAD5001, DAD5002 は本体と付属品で構成されています。

下記の表の通り揃っていることを確認してください。

品名	型名	数量	備考
レベル調整・音声遅延機能付 デジタル・オーディオ 分配モジュール	DAD5001 又は DAD5002	1	本体
取扱説明書		1	本書
検査合格証		1	

3. 機能

- ・入力レイト、及びモードを LED で表示します。点灯色は、「5. 操作説明」を参照してください。
- ・音声レベル調整は、チャンネル単位で各入出力それぞれ $\pm 20\text{dB}$ 、 0.1dB 刻みで調整できます。
- ・遅延制御は、各出力それぞれについて 1ms 刻みで 1000ms まで調整できます。
- ・AES/EBU 信号 自動リクロックを内蔵。
- ・DAD5002 は 1 入力 4 分配を 2 系統か、1 入力 8 分配をディップスイッチで切替可能です。
- ・AES/EBU 信号の分配、LTC 信号の分配、ワードクロックの分配は各系統毎にディップスイッチで切替可能です。
- ・エマージェンシースルー（電源 OFF 時）に対応します。

DAD5001 IN1 - OUT1-1

DAD5002 IN1 - OUT1-1、IN2 - OUT2-1

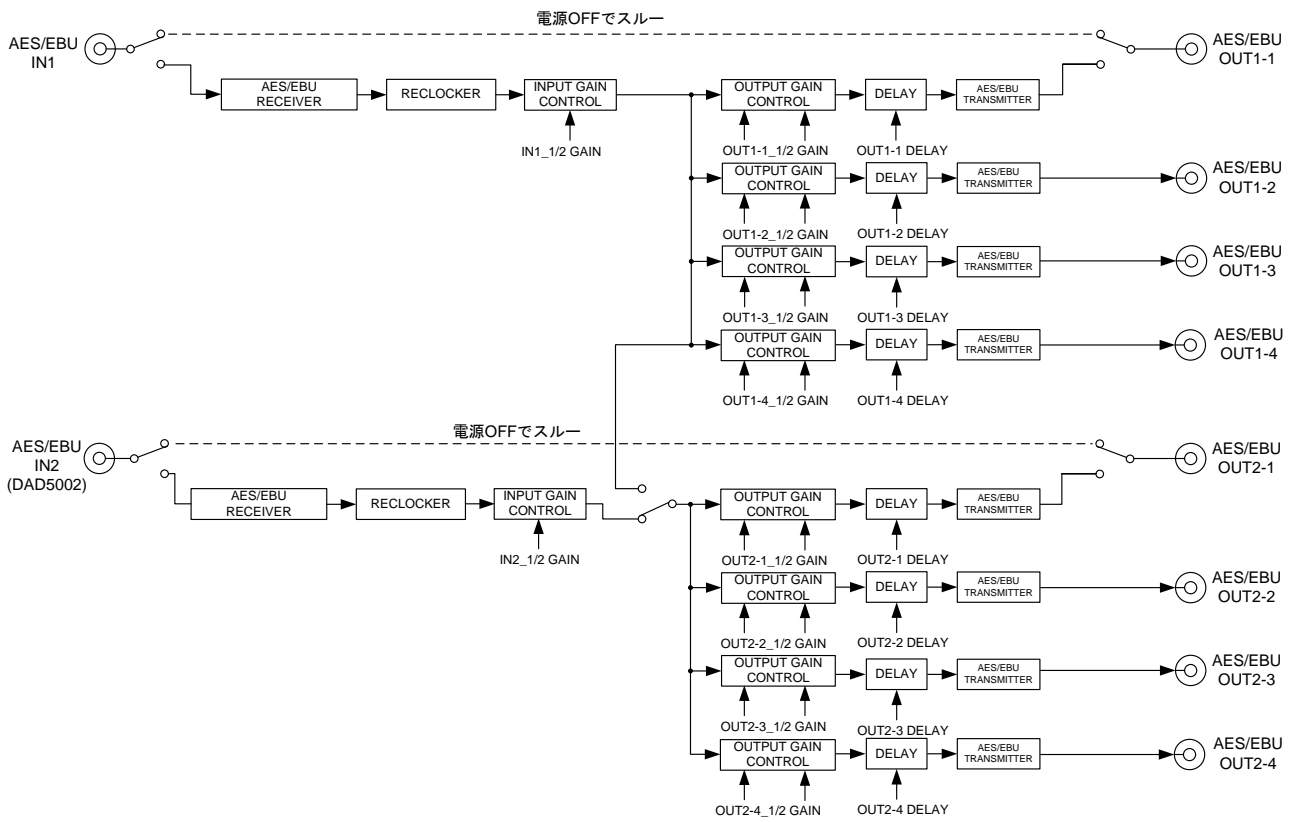
1 入力 8 分配使用時は OUT1-1 にエマージェンシー出力されます。

2 入力 4 分配(1 入力 4 分配 x2 系統)使用時は、OUT1-1、OUT2-1 それぞれにエマージェンシー出力されます。

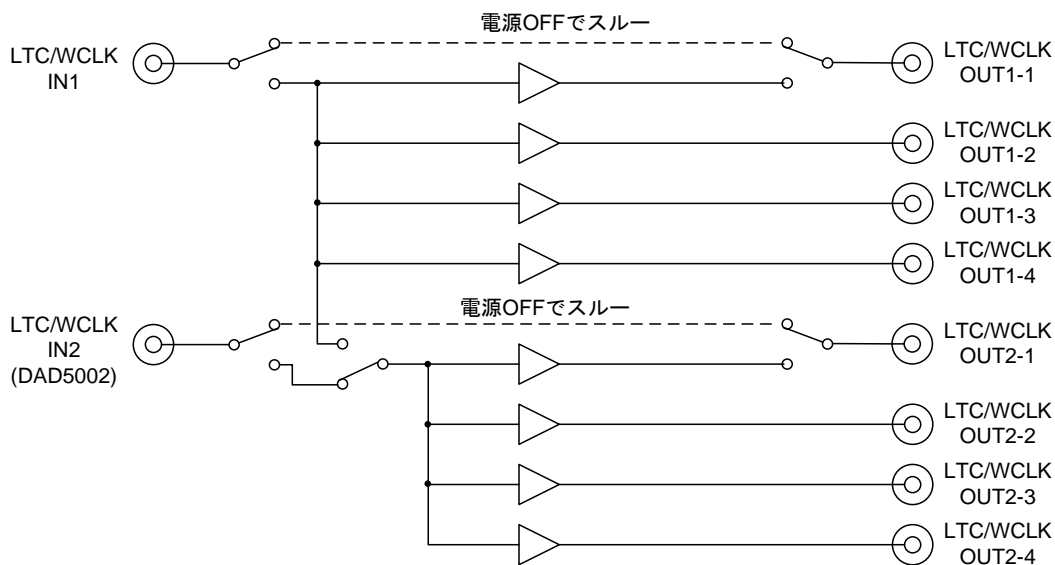
- ・パラメータの設定は SNMP による設定か、SD カード内の設定ファイルを直接編集することにより設定します。
- ・SNMP に対応します。

4. ブロック図

AES/EBU設定時

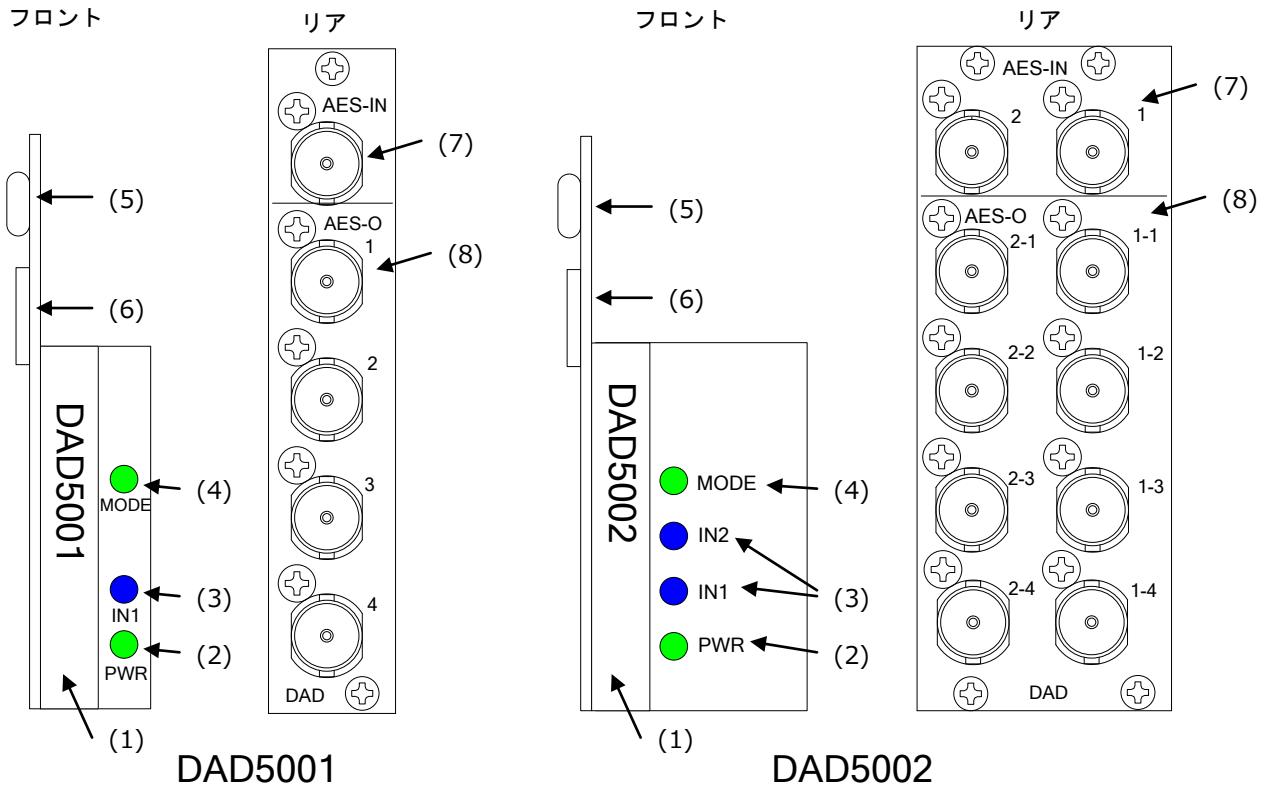


LTC/ワードクロック設定時



5. 操作説明

5-1. フロント、リア入出力及び LED 表示



- (1) フロントモジュール引き出し取っ手 (DAD5001,DAD5002 共通)
 (2) 電源ランプ 電源投入時 緑点灯 (DAD5001,DAD5002 共通)
 (3) 入力レート LED (DAD5001,DAD5002 共通)

AES 信号が入力されると点灯します。INPUT 1,2

48kHz 以下 青点灯

96kHz 白点灯

LTC/WCLK 緑点灯 (WCLK 32k,44.1k,48k,96k ±5%で点灯 それ以外は、消灯)

上記以外 消灯

*注、DAD5001 は、INPUT 2 使用せず

- (4) MODE LED (DAD5001,DAD5002 共通)
 1 入力 4 分配 2 系統 消灯
 1 入力 8 分配 緑点灯
 SD カードのデータ読み込み中 赤 点灯
 設定完了、設定コマンド正常 緑 (1 秒間)
 設定完了、設定コマンド異常 紫 (1 秒間)

- (5) USB (DAD5001,DAD5002 共通)

- (6) Micro SD (DAD5001,DAD5002 共通)

- (7) 信号入力 AES IN (DAD5001) AES1,2 (DAD5002)(1 入力 8 分配時は INPUT 1 を入力)

- (8) 信号出力 AES OUT 1,2,3,4 (DAD5001), AES OUT 1-1,1-2,1-3,1-4,2-1,2-2,2-3,2-4(DAD5002)

5 - 2. フロントモジュール設定

分配モード S3

S3-1	OFF	1入力4分配 2系統	ON	1入力 8分配
S3-2	OFF	LTC/WCLK	ON	AES/EBU
S3-3	OFF	WCLK	ON	LTC
S3-4	OFF	S3-1 OFF時 信号連動	ON	S3-1 OFF時 異種信号の場合 S1で設定

S1 (注、1入力4分配 2系統 時の異種信号の場合の INPUT 1 は、S3-2,3による)

S1-1 OFF LTC/WCLK ON AES/EBU (S3-4 ON時 INPUT 2設定)

S1-2 OFF WCLK ON LTC (S3-4 ON時 INPUT 2設定)

S1-3 ~ 8は、使用せず。出荷時 OFF

S6 使用せず。出荷時 OFF

出力インピーダンス設定 OUT1 ~ 8 (S9,10,11,12,13,14,15,16)

75 75Ω設定 AES/EBU,WCLK 時に使用 出荷時は、75側

LO Z ローインピーダンス 約 37Ω LTC時に使用

入力インピーダンス設定 IN1 75,IN1 HI,IN2 75,IN2 HI (S7,S8)

IN1 75 入力1 75Ω設定

IN2 75 入力2 75Ω設定

IN1 HI 入力1 HI インピーダンス設定

IN2 HI 入力2 HI インピーダンス設定

6. フレームの取付方法

6-1 まず、リアモジュールを取り付けます。

6-2 本モジュールの場合 DAD5001 “1slot”, DAD5002 “2 slot”以上の空きを確認して実装します。

6-3 リアモジュールを slot に挿入してリアモジュール固定ネジを DAD5001 2ヶ所 DAD5002 4ヶ所ネジ止めします。

6-4 そのあと、フロントモジュールを挿入します。

6-5 リアモジュールの slot 番号を確認して DAD5002 は、2 slot 分 若い番号のほうにフロントモジュールを挿入します。

7. SNMP

DAD5001/DAD5002 は SNMP による監視が可能です。

DAD5001 は、[1.3.6. 1.4.1.47892.2.1.26.], DAD5002 は[1.3.6. 1.4.1.47892.2.1.27.]の後に、以下のオブジェクト識別子を加えて情報を取得します。index はスロット番号で、C5002 では 1~20、C5001 では 1~6 となります。Get/Set 項目の斜体太文字が初期値です。

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
ProductId 10.1.10.index	INTEGER	RO	4	プロダクト ID 情報	<i>DAD5001=26</i> <i>DAD5002=27</i>	
ProductDescr 10.1.11.index	OCTET STRING	RO	128	プロダクト説明	<i>DAD5001="DAD5001 : 1 slot Digital Audio Distribution Module"</i> <i>DAD5002="DAD5002 : 2 slot Digital Audio Distribution Module"</i>	
FwVer 10.1.12.index	OCTET STRING	RO	8	ファームウェアバージョン	–	
HwVer 10.1.13.index	OCTET STRING	RO	8	ハードウェアバージョン	–	
OccupiedSlot 10.1.14.index	INTEGER	RO	4	占有スロット数	<i>DAD5001=1</i> <i>DAD5002=2</i>	
AliasName 10.1.15.index	OCTET STRING	R/W	128	エリアス名	–	
In1RelayCtl 20.1.2.index	INTEGER	R/W	4	In1 リレー設定	off=1, <i>on=2</i>	
In2RelayCtl 20.1.3.index	INTEGER	R/W	4	In2 リレー設定 ※1	off=1, <i>on=2</i>	
AudioProcessBypass 20.1.4.index	INTEGER	R/W	4	オーディオ処理バイパス設定	<i>off=1</i> , on=2	
AlarmEnIntComm 20.1.5.index	INTEGER	R/W	4	内部バス通信エラーアラーム イネーブル	<i>disable=1</i> , enable=2	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
AlarmEnCpuHighTemp 20.1.6.index	INTEGER	R/W	4	CPU 温度アラームイネーブル	<i>disable=1</i> , enable=2	
AlarmEnAesUnlock 20.1.7.index	INTEGER	R/W	4	AES アンロックアラームイネーブル	<i>disable=1</i> , enable=2	
AlarmEnAesNonPCM 20.1.8.index	INTEGER	R/W	4	AES non PCM アラームイネーブル	<i>disable=1</i> , enable=2	
TrapEnCpuHighTemp 20.1.10.index	INTEGER	R/W	4	CPU 温度トラップイネーブル	<i>disable=1</i> , enable=2	
TrapEnAesUnlock 20.1.11.index	INTEGER	R/W	4	AES アンロックトラップイネーブル	<i>disable=1</i> , enable=2	
TrapEnAesNonPCM 20.1.12.index	INTEGER	R/W	4	AES non PCM トラップイネーブル	<i>disable=1</i> , enable=2	
CpuTemperatureThres hold 20.1.13.index	INTEGER	R/W	4	CPU 温度アラームしきい値	-40~ 75 ~125	
In1CH1Gain 20.1.20.index	INTEGER	R/W	4	In1 CH1 ゲイン設定 設定ゲインの 10 倍を設定	-200~ 0 ~200	
In1CH2Gain 20.1.21.index	INTEGER	R/W	4	In1 CH2 ゲイン設定 設定ゲインの 10 倍を設定	-200~ 0 ~200	
In2CH1Gain 20.1.22.index	INTEGER	R/W	4	In2 CH1 ゲイン設定 設定ゲインの 10 倍を設定 ※1	-200~ 0 ~200	
In2CH2Gain 20.1.23.index	INTEGER	R/W	4	In2 CH2 ゲイン設定 設定ゲインの 10 倍を設定 ※1	-200~ 0 ~200	
Out1-1CH1Gain 20.1.30.index	INTEGER	R/W	4	Out1-1 CH1 ゲイン設定 設定ゲインの 10 倍を設定	-200~ 0 ~200	
Out1-1CH2Gain 20.1.31.index	INTEGER	R/W	4	Out1-1 CH2 ゲイン設定 設定ゲインの 10 倍を設定	-200~ 0 ~200	
Out1-2CH1Gain 20.1.32.index	INTEGER	R/W	4	Out1-2 CH1 ゲイン設定 設定ゲインの 10 倍を設定	-200~ 0 ~200	
Out1-2CH2Gain 20.1.33.index	INTEGER	R/W	4	Out1-2 CH2 ゲイン設定 設定ゲインの 10 倍を設定	-200~ 0 ~200	
Out1-3CH1Gain 20.1.34.index	INTEGER	R/W	4	Out1-3 CH1 ゲイン設定 設定ゲインの 10 倍を設定	-200~ 0 ~200	
Out1-3CH2Gain 20.1.35.index	INTEGER	R/W	4	Out1-3 CH2 ゲイン設定 設定ゲインの 10 倍を設定	-200~ 0 ~200	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
Out1-4CH1Gain 20.1.36.index	INTEGER	R/W	4	Out1-4 CH1 ゲイン設定 設定ゲインの 10 倍を設定	-200~0~200	
Out1-4CH2Gain 20.1.37.index	INTEGER	R/W	4	Out1-4 CH2 ゲイン設定 設定ゲインの 10 倍を設定	-200~0~200	
Out2-1CH1Gain 20.1.40.index	INTEGER	R/W	4	Out2-1 CH1 ゲイン設定 設定ゲインの 10 倍を設定 ※1	-200~0~200	
Out2-1CH2Gain 20.1.41.index	INTEGER	R/W	4	Out2-1 CH2 ゲイン設定 設定ゲインの 10 倍を設定 ※1	-200~0~200	
Out2-2CH1Gain 20.1.42.index	INTEGER	R/W	4	Out2-2 CH1 ゲイン設定 設定ゲインの 10 倍を設定 ※1	-200~0~200	
Out2-2CH2Gain 20.1.43.index	INTEGER	R/W	4	Out2-2 CH2 ゲイン設定 設定ゲインの 10 倍を設定 ※1	-200~0~200	
Out2-3CH1Gain 20.1.44.index	INTEGER	R/W	4	Out2-3 CH1 ゲイン設定 設定ゲインの 10 倍を設定 ※1	-200~0~200	
Out2-3CH2Gain 20.1.45.index	INTEGER	R/W	4	Out2-3 CH2 ゲイン設定 設定ゲインの 10 倍を設定 ※1	-200~0~200	
Out2-4CH1Gain 20.1.46.index	INTEGER	R/W	4	Out2-4 CH1 ゲイン設定 設定ゲインの 10 倍を設定 ※1	-200~0~200	
Out2-4CH2Gain 20.1.47.index	INTEGER	R/W	4	Out2-4 CH2 ゲイン設定 設定ゲインの 10 倍を設定 ※1	-200~0~200	
Out1-1CH1Delay 20.1.50.index	INTEGER	R/W	4	Out1-1 CH1 遅延設定	0~1000	
Out1-1CH2Delay 20.1.51.index	INTEGER	R/W	4	Out1-1 CH2 遅延設定	0~1000	
Out1-2CH1Delay 20.1.52.index	INTEGER	R/W	4	Out1-2 CH1 遅延設定	0~1000	
Out1-2CH2Delay 20.1.53.index	INTEGER	R/W	4	Out1-2 CH2 遅延設定	0~1000	
Out1-3CH1Delay 20.1.54.index	INTEGER	R/W	4	Out1-3 CH1 遅延設定	0~1000	
Out1-3CH2Delay 20.1.55.index	INTEGER	R/W	4	Out1-3 CH2 遅延設定	0~1000	
Out1-4CH1Delay 20.1.56.index	INTEGER	R/W	4	Out1-4 CH1 遅延設定	0~1000	
Out1-4CH2Delay 20.1.57.index	INTEGER	R/W	4	Out1-4 CH2 遅延設定	0~1000	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
Out2-1CH1Delay 20.1.60.index	INTEGER	R/W	4	Out2-1 CH1 遅延設定 ※1	0~1000	
Out2-1CH2Delay 20.1.61.index	INTEGER	R/W	4	Out2-1 CH2 遅延設定 ※1	0~1000	
Out2-2CH1Delay 20.1.62.index	INTEGER	R/W	4	Out2-2 CH1 遅延設定 ※1	0~1000	
Out2-2CH2Delay 20.1.63.index	INTEGER	R/W	4	Out2-2 CH2 遅延設定 ※1	0~1000	
Out2-3CH1Delay 20.1.64.index	INTEGER	R/W	4	Out2-3 CH1 遅延設定 ※1	0~1000	
Out2-3CH2Delay 20.1.65.index	INTEGER	R/W	4	Out2-3 CH2 遅延設定 ※1	0~1000	
Out2-4CH1Delay 20.1.66.index	INTEGER	R/W	4	Out2-4 CH1 遅延設定 ※1	0~1000	
Out2-4CH2Delay 20.1.67.index	INTEGER	R/W	4	Out2-4 CH2 遅延設定 ※1	0~1000	
SetDefault 20.1.900.index	INTEGER	R/W	4	デフォルト設定に戻す	no=1, yes=2	
ConfigFileWrite 20.1.901.index	INTEGER	R/W	4	現在の設定をコンフィグ設定 ファイルに書き込む	no=1, yes=2	
In1 30.1.2.index	INTEGER	RO	4	In1 のステータス	unlock=1, f32k=2, f44k=3, f48k=4, f96k=5	
In2 30.1.3.index	INTEGER	RO	4	In2 のステータス ※1	unlock=1, f32k=2, f44k=3, f48k=4, f96k=5	
In1Sel 30.1.4.index	INTEGER	RO	4	In1 入力選択設定	aes=1, ltc=2, wclk=3	
In2Sel 30.1.5.index	INTEGER	RO	4	In2 入力選択設定 ※1	aes=1, ltc=2, wclk=3	
Mode 30.1.6.index	INTEGER	RO	4	分配モード設定	dist18=1, dist24=2	
In1Term 30.1.7.index	INTEGER	RO	4	In1 終端設定	off=1, on=2	
In2Term 30.1.8.index	INTEGER	RO	4	In2 終端設定 ※1	off=1, on=2	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
OutImpedance 30.1.9.index	INTEGER	RO	4	出カインピーダンス設定	1 で 75Ω, 0 で Lo インピーダンス Bit1=Out1-1 Bit7=Out2-4 All Off=0, All On=255 表示	
CpuTemperature 30.1.10.index	INTEGER	RO	4	CPU 温度	-40~125	○
AlarmIntCommErr 30.1.100.index	INTEGER	RO	4	内部バス通信エラーアラーム ステータス	noErr=1, err=2	
AlarmIn1Unlock 30.1.101.index	INTEGER	RO	4	In1 入カアンロックアラーム ステータス	lock=1, unlock=2	○
AlarmIn2Unlock 30.1.102.index	INTEGER	RO	4	In2 入カアンロックアラーム ステータス ※1	lock=1, unlock=2	○
AlarmIn1NonPCM 30.1.103.index	INTEGER	RO	4	In1 non PCM アラームステータス	lock=1, unlock=2	○
AlarmIn2NonPCM 30.1.104.index	INTEGER	RO	4	In2 non PCM アラームステータス※1	lock=1, unlock=2	○

※1 : DAD5002 のみ

Trap 番号	内容
dad5001TrapInlock 26.0.1.index dad5002TrapInlock 27.0.1.index	AES 入力 1 又は 2 がロックしたことを示すトラップ
dad5001TrapPCM 26.0.2.index dad5002TrapPCM 27.0.2.index	AES 入力 1 又は 2 で PCM 音声を検出されたことを示すトラップ
dad5001TrapCpuTemperatureOK 26.0.3.index dad5002TrapCpuTemperatureOK 27.0.3.index	CPU の温度が設定値以下になったことを示すトラップ
dad5001TrapInUnlock 26.0.101.index dad5002TrapInUnlock 27.0.101.index	AES 入力 1 又は 2 がアンロックしたことを示すトラップ
dad5001TrapNonPCM 26.0.102.index dad5002TrapNonPCM 27.0.102.index	AES 入力 1 又は 2 で Non PCM 音声を検出されたことを示すトラップ

Trap 番号	内容
dad5001TrapCpuHighTemperature 26.0.103.index dad5002TrapCpuHighTemperature 27.0.103.index	CPU の温度が設定値以上になったことを示すトラップ
dad5001TrapConfigWriteError 26.0.104.index dad5002TrapConfigWriteError 27.0.104.index	コンフィグファイルの書き込みでエラーがあったことを示すトラップ

8. コンフィグ設定ファイル・フォーマット

SD カードに“DAD5000_comm.cfg”のファイル名で格納されているファイルがコンフィグ設定ファイルです。1 行 1 パラメータとなっており、設定コマンド、パラメータの順に記載します。//以降はコメントして扱われます。” DAD5000_err.txt”ファイルに読み込み時にエラーが発生した場合は、エラーのあった設定とエラー内容が出力されます。なお、SD カードをフロントモジュールに差し込み、CPU がアクセスすると MODE LED がアクセス中、赤点灯します。読み込みエラーがなかった場合は、MODE LED が通常モードに戻る前に 1 秒間緑点灯し、読み込みエラーがあった場合は、1 秒間紫点灯します。紫点灯した場合には、“ DAD5000_err.txt”の内容を確認し、“DAD5000_comm.cfg”の設定を修正してください。

記述例)

```
IN1_RL      ON      //      IN1 Relay ON/OFF ON:通常、OFF:スルー
```

以下に、設定コマンド一覧を示します。

設定コマンド	内容	設定パラメータ	Default
IN1_RL	IN1 リレー設定	ON:通常、OFF:スルー	ON
IN2_RL ※2	IN2 リレー設定	ON:通常、OFF:スルー	ON
AUDIO_PROCESS_BYPASS	オーディオ処理バイパス設定	ON:バイパス、OFF:通常	OFF
AES_ERR_ALARM	AES エラー (AES アンロック、未サポート RATE、PLL アンロック)時のモジュールアラーム出力設定	ON:アラーム出力 OFF:アラーム未出力	OFF
AES_NON_PCM_ALARM	AES 時 non PCM 信号が入力されたときのモジュールアラーム出力設定	ON:アラーム出力 OFF:アラーム未出力	OFF
GAIN_AESIN1_CH1	In1CH1 のゲイン調整(0.1dB ステップ)	-20.0~20.0 (dB)	0
GAIN_AESIN1_CH2	In1CH2 のゲイン調整(0.1dB ステップ)	-20.0~20.0 (dB)	0
GAIN_AESIN2_CH1 ※2	In2CH1 のゲイン調整(0.1dB ステップ)	-20.0~20.0 (dB)	0
GAIN_AESIN2_CH2 ※2	In2CH2 のゲイン調整(0.1dB ステップ)	-20.0~20.0 (dB)	0
GAIN_AESOUT1-1_CH1	Out1-1CH1 のゲイン調整(0.1dB ステップ)	-20.0~20.0 (dB)	0
GAIN_AESOUT1-1_CH2	Out1-1CH2 のゲイン調整(0.1dB ステップ)	-20.0~20.0 (dB)	0
GAIN_AESOUT1-2_CH1	Out1-2CH1 のゲイン調整(0.1dB ステップ)	-20.0~20.0 (dB)	0
GAIN_AESOUT1-2_CH2	Out1-2CH2 のゲイン調整(0.1dB ステップ)	-20.0~20.0 (dB)	0
GAIN_AESOUT1-3_CH1	Out1-3CH1 のゲイン調整(0.1dB ステップ)	-20.0~20.0 (dB)	0
GAIN_AESOUT1-3_CH2	Out1-3CH2 のゲイン調整(0.1dB ステップ)	-20.0~20.0 (dB)	0
GAIN_AESOUT1-4_CH1	Out1-4CH1 のゲイン調整(0.1dB ステップ)	-20.0~20.0 (dB)	0
GAIN_AESOUT1-4_CH2	Out1-4CH2 のゲイン調整(0.1dB ステップ)	-20.0~20.0 (dB)	0
GAIN_AESOUT2-1_CH1 ※2	Out2-1CH1 のゲイン調整(0.1dB ステップ)	-20.0~20.0 (dB)	0
GAIN_AESOUT2-1_CH2 ※2	Out2-1CH2 のゲイン調整(0.1dB ステップ)	-20.0~20.0 (dB)	0
GAIN_AESOUT2-2_CH1 ※2	Out2-2CH1 のゲイン調整(0.1dB ステップ)	-20.0~20.0 (dB)	0
GAIN_AESOUT2-2_CH2 ※2	Out2-2CH2 のゲイン調整(0.1dB ステップ)	-20.0~20.0 (dB)	0
GAIN_AESOUT2-3_CH1 ※2	Out2-3CH1 のゲイン調整(0.1dB ステップ)	-20.0~20.0 (dB)	0
GAIN_AESOUT2-3_CH2 ※2	Out2-3CH2 のゲイン調整(0.1dB ステップ)	-20.0~20.0 (dB)	0

設定コマンド	内容	設定パラメータ	Default
GAIN_AESOUT2-4_CH1 ※2	Out2-4CH1 のゲイン調整(0.1dB ステップ)	-20.0~20.0 (dB)	0
GAIN_AESOUT2-4_CH2 ※2	Out2-4CH2 のゲイン調整(0.1dB ステップ)	-20.0~20.0 (dB)	0
DELAY_AESOUT1-1_CH1	Out1-1CH1 の遅延設定 (1 m s ステップ)	0~1000 (ms)	0
DELAY_AESOUT1-1_CH2	Out1-1CH2 の遅延設定 (1 m s ステップ)	0~1000 (ms)	0
DELAY_AESOUT1-2_CH1	Out1-2CH1 の遅延設定 (1 m s ステップ)	0~1000 (ms)	0
DELAY_AESOUT1-2_CH2	Out1-2CH2 の遅延設定 (1 m s ステップ)	0~1000 (ms)	0
DELAY_AESOUT1-3_CH1	Out1-3CH1 の遅延設定 (1 m s ステップ)	0~1000 (ms)	0
DELAY_AESOUT1-3_CH2	Out1-3CH2 の遅延設定 (1 m s ステップ)	0~1000 (ms)	0
DELAY_AESOUT1-4_CH1	Out1-4CH1 の遅延設定 (1 m s ステップ)	0~1000 (ms)	0
DELAY_AESOUT1-4_CH2	Out1-4CH2 の遅延設定 (1 m s ステップ)	0~1000 (ms)	0
DELAY_AESOUT2-1_CH1 ※2	Out2-1CH1 の遅延設定 (1 m s ステップ)	0~1000 (ms)	0
DELAY_AESOUT2-1_CH2 ※2	Out2-1CH2 の遅延設定 (1 m s ステップ)	0~1000 (ms)	0
DELAY_AESOUT2-2_CH1 ※2	Out2-2CH1 の遅延設定 (1 m s ステップ)	0~1000 (ms)	0
DELAY_AESOUT2-2_CH2 ※2	Out2-2CH2 の遅延設定 (1 m s ステップ)	0~1000 (ms)	0
DELAY_AESOUT2-3_CH1 ※2	Out2-3CH1 の遅延設定 (1 m s ステップ)	0~1000 (ms)	0
DELAY_AESOUT2-3_CH2 ※2	Out2-3CH2 の遅延設定 (1 m s ステップ)	0~1000 (ms)	0
DELAY_AESOUT2-4_CH1 ※2	Out2-4CH1 の遅延設定 (1 m s ステップ)	0~1000 (ms)	0
DELAY_AESOUT2-4_CH2 ※2	Out2-4CH2 の遅延設定 (1 m s ステップ)	0~1000 (ms)	0

※2 : DAD5002 のみ有効

9. 定格および電気的特性

入力信号	コネクタ	DAD5001	BNC×1	
		DAD5002	BNC×2	
	入力レベル、インピーダンス	AES/EBU	0.1 - 1.1Vp-p 75Ω	
		LTC	0.5 - 4.5Vp-p 1kΩ	
WCLK		0.1 - 2.5Vp-p 75Ω		
	AES/EBU サンプリング周波数、分解能	32k/44.1k/48k/96kHz 16/20/24bit		
出力信号	コネクタ	DAD5001	BNC×4	
		DAD5002	BNC×8	
	出力レベル、インピーダンス	AES/EBU	1.0Vp-p 75Ω	
		LTC	2.0Vp-p 50Ω未満	
WCLK		2.5Vp-p 75Ω (0-2.5V)		
	AES/EBU サンプリング周波数、分解能	32k/44.1k/48k/96kHz 24bit		
占有スロット数	DAD5001	1 スロット		
	DAD5002	2 スロット		
動作環境	0℃～40℃ 20%～85% (結露無きこと)			
電源	DC 12V			
消費電力	DAD5001	8W		
	DAD5002	8W		
外形寸法	398.5 x 88 mm			
質量	DAD5001	180g		
	DAD5002	260g		



1 0 . お問い合わせ

株式会社 コスミックエンジニアリング

Address : 〒191-0065 東京都日野市旭が丘 3-2-11

TEL: 042-586-2933 (代表)

042-586-2650 (SI 部)

FAX : 042-584-0314

URL: <http://www.cosmic-eng.co.jp/>

E-Mail: c1000@cosmic-eng.co.jp